

県政報告くれ

第693号
延556万部発行
2025.6.20 春季号
発行人 犬童英徳

「庶民の四割は“貧困”だ！ 政治家は何している！」

物価高騰、少ない年金、高い医療費に“怒り”の声
無所属・市民派(呉市議3期、県議9期)



県議会議員

いぬどう英徳

広島原爆被爆者援護事業団評議員

呉市広弁天橋町 4-17 ☎72-9065

変わらぬご支援ご協力に感謝申し上げます。5月から暑い日が続きますね。熱中症など高齢者から子どもたちまで、体調管理が心配されます。水分補給と休憩を忘れず、お互いに気を付けあって、お過ごしください。(犬童は公園で、朝のラジオ体操15年継続中。)

コメ問題に象徴される物価高騰は賃上げを超えて、庶民なканずく高齢者、母子父子家庭、障がい者のくらしを直撃しています。知人から、「庶民の四割は貧困にあえいでいる。政治家は何をしている。もっとしっかりと取組んでほしい。」との電話があった。来月は参議院選挙が行われる。衆議院では与野党逆転が起きて、与党も野党の要求で政策の修正をせざるを得なくなった。参議院でも与野党逆転が実現させなければ、自民公明与党のわが物顔の政治の転換はできない。



郡山リょう

全国行脚。3児の父。くらし・雇用・平和を！

JAM(ミットヨ、新日本造機、中国工業、元寿工業、日東工業等の労組)と連携
立憲民主党

呉街づくりの柱は「平和産業港湾都市」！

呉市全域の活性化、景気・雇用拡大対策、高齢少子化対策

日鉄跡地活用も大切な重要な課題です。先の大戦で、東洋一の軍港都市呉は未曾有の被害を受けた。戦後からの復興を目指して、産業界も市民も「平和産業港湾都市」を目標に戦後80年を歩んできました。重厚長大型の産業からの転換、ITやAIに象徴される高度情報化への対応、瀬戸内の景観や農漁業を生かした観光振興など自然共生型の街づくり、中小企業の技術革新や市場拡大、企業誘致などの取組が重要です。秋の呉市長選挙は政策論争を期待したい。

原爆被爆80周年 ノーベル平和賞を励みに核廃絶を

「未来の子供たちへのこそう！ 戦争も核兵器もない地球を」 犬童は「広島原爆被爆者援護事業団評議員」。原爆に人生を奪われ、寝たきりの被爆者の増加など、入所者の現状はきわめて厳しい。ロシアもイスラエルも即時停戦に応じて戦争での犠牲を増やすべきでない。国連の「核兵器禁止条約」の発行、国際世論の高まりなど「核兵器が戦争を抑止する」の考えは破綻している。「人類は生きねばならぬ」過ちを繰り返してはならない。

“災害”は忘れぬ内にやってくる！ 2018年7月豪雨

6月定例県議会 6/23~7/1 補正20 数億円規模

防災対策、高校授業料負担軽減、LPガス高騰対策など



天応大屋大川土石流で大災害



広島呉道路、JR 呉線復旧



安浦市原地区土石流

知事が“埋立架橋案”廃止、“トンネル”を建設、完成！ 守れた鞆の浦の景観と“歴史文化遺産”

風待ち港として栄えた福山の「鞆の浦港」の交通渋滞対策として港を埋め立て、橋を架ける案が公表されると、全国各地から歴史文化遺産を守る意見が相次いだ。私は埋立架橋案に疑義を感じ、他県の白壁や町家保存を調査に行って関係者の意見を聞いた。「鞆の浦の歴史文化遺産をつぶしたら、広島県が笑われますよ。」と言われた。山際う回のトンネル掘削案を支持した。湯崎知事の決断で、トンネル建設が進められ、このほど完成した。鞆の浦の歴史的景観・文化財、風待ち港としての風情。坂本龍馬や宮崎駿監督も魅せられた。大切にしたい。



完成した山側トンネルルート
街並み、文化財の保全が課題

風待ち港“鞆の風情”
竜馬も宮崎駿監督も魅せられ

重伝建指定 呉市豊町御手洗、
県が街並み保存事業

広島市宇品の被爆建物 重文 “旧陸軍被服支廠”の保存活用 宇品の旧水上警察署など被爆建物の世界遺産化を

1945.8.6 原爆投下直後から、負傷者が次々と非難非、重傷者が運ばれてきた。倉庫で働いていた中西巖さん(故人)は、負傷者への対応、死体処理などに追われた。建物撤去の話が議会でも論議されるようになり、中西さんは仲間をさそって、保存運動の先頭に立たれた。会社の先輩後輩として、「犬童君手伝ってほしい。」との電話があり、私は側面から応援させてもらった。

県議会民主県政会や県選出の国会議員、文化庁の強い協力もあって、保存・国の重要文化財に昨年指定が決まった。、現在、側壁の安全対策が進められている。「核兵器廃絶」に向けた有効活用も検討されている。被爆建物等を一括しての世界遺産化が望まれる。



宇品の「旧陸軍被服支廠」4棟
原爆被災者の救護しになった



宇品の旧水上警察署(木造)
傾いている。保存整備が必要



2021年「世界遺産」から25年
国内外から訪問者が絶えない

世界記憶遺産「朝鮮通信使」復元船が呉港に寄港5月5,6日

下蒲刈三ノ瀬で通信使一行の行列が再現されてきた。韓国で「通信使船」が復元され、先月、呉港に寄港した。日本海の荒波を超えて、大陸から人や、大陸の文化を運んだ。

私が県議会で世界遺産化を訴えたら、委員会の後、ある担当者が私の処にきて、「実現しないのだから、議会では取上げないで」と忠告、私は「必ずできる。」と反論。数か月後、実現した。



「朝鮮通信使」復元船
5月5～6日呉に寄港



呉港埠頭で歓迎のイベント
犬童は世界遺産登録に取組んだ



通信使一行歓迎の豪華料理
下蒲刈三ノ瀬「ご馳走一番館」

広島県令和7年度当初予算措置状況(呉市分主な事業)

(令和6年度12月及び2月補正予算(国の補正予算活用分)を含む) (単位: 千円)

所 管 、 事 業 名	予 算 額	事 業 内 容
1. 地域政策局		
① 離島交通対策事業	17,484	離島航路運航に対する補助
② 生活航路維持確保対策事業	16,555	県として維持すべき航路運航に補助
③ 市町生活交通支援事業	28,260	市町自主運行バス路線に対する補助
2. 環境県民局		
① 消費者行政生活相談窓口機能強化補助	1,987	消費者行政生活相談窓口機能強化補助
② 海ごみ対策推進事業	4,530	海岸清掃、漂着物回収、処分等市町補助
③ 公園施設維持修繕事業	32,400	県民の浜、輝きの館、野呂山、維持修繕
④ 地域廃棄物対策支援事業	9,675	市町の不法投棄、一般廃棄物排出抑制事業補助
⑤ 保育所等施設型県費負担金	59,145	幼児教育無償化等経費(私立幼稚園)
3. 健康福祉局		
① 救命救急センター運営支援	62,550	国立病院機構医療センター運営費補助
② 小児救急医療確保対策事業	12,496	小児科輪番制受入体制の確保補助
③ 周産期母子医療センター支援	30,220	医療センター人件費、医薬材料費等補助
④ 市町子育て支援事業	(663,808)	支援拠点や一時預かり等支援経費補助
⑤ 保育対策等促進事業	(432,320)	21 市町、市町の延長保育や病児保育補助
⑥ 放課後児童クラブ事業	(2,666,231)	22 市町、放課後児童クラブ運営経費補助
⑦ 社会福祉施設整備費補助金	10,003	市町や社会福祉法人の病児保育創設1所
⑧ 保育所等施設型給付費県負担金	16,275,205)	23 市町、私立保育所等の県負担金、保育の無償化に要する経費
⑨ 重層的支援体制整備事業	131,140	包括的支援体制構築の実施助成
⑩ 病床機能分化・連携促進整備	(1,811,894)	医療機関が病床再編の施設整備費等補助
同	(668,196)	病床機能再編による消滅病床給付金支給
⑪ 乳幼児医療費助成事業	(1,392,211)	乳幼児医療費を公費負担市町への補助
⑫ ひとり親家庭等医療費助成事業	(580,352)	公費負担市町への補助
⑬ 医療機関経営状況等対策支援	(1,790,596)	経営の急変医療機関への支援等
⑭ 参加・小児科医療確保事業	(175,530)	分娩数が減少の施設への支援
⑮ 物価高騰に係わる機関支援事業	(3,114,493)	光熱費・食材費等高騰影響への一部支援
4. 商工労働局		(中小企業融資、貸付金等は全県実施)
① 石油貯蔵施設立地対策等交付金	17424	立地・隣接市町の公共施設整備補助交付
② 中小・ベンチャー企業支援	3,410	呉市商工会議所
③ 安浦地区土地造成事業	16,500	雨水排水施設工事
5. 農林水産局		
① 広島の森づくり事業(交付金)	11,500	手入れが不十分な里山林の整備等
6. 土木建築局		
① 土木建築公共事業		(農林、土木は多事業のため不掲載)
7. 教育委員会		
① 文化財保存事業費補助金	15,835	御手洗地区建造物、史跡石泉文庫保存
② デジタル基盤整備事業	517,990	公立小中学校の一人一台端末更新補助
③ 県立学校施設設備整備事業	771,496	広高校、呉商業高校、呉宮原高校工事

市議時代に取り組んだ「農業公園」(グリーンヒル郷原)で孫と一緒に玉ねぎを収穫



収穫しただけメカタで支払い



家のベランダで吊るし干し



市民農園にハーブ紫葵

ワンさんの徒然草

1. 火野正平さんの後継に田中美佐子さん。「こころ旅」再出発

火野正平さんが急死して、どうなるかと心配していたNHKBSの「こころ旅」を女優の田中美佐子さんが引き継ぐことになってうれしい。知人からも「彼女はピッタリだ」の声がよせられる。火野正平さんも天国で安心していると思う。「こころ旅」で田舎の風景が、それぞれのふる里と重なって見える。♪ウサギおいしかの山、小鮒つりしかの川♪ 子どもの頃の忘れられない思い出、体験が思い出される。



2. 「百姓は食うただけが残риだよ」父の口癖だった。

農業一筋だった亡き父は、「朝は朝星、夜は夜星、(昼は梅干し)」が日課だった。「朝は夜明け前から、夜は日暮れまで、ひるは梅干を食って」、精を出して働く百姓の姿が見えてくる。父は「百姓は食うただけが残りだ(儲け)」といつもぼやいていた。

私は男3人兄弟の二番目。父は「農業をしる」とは言わなかった。子供たちが朝起きる前に、母と田んぼに出かけ、夜は子供たちが寝しづまる頃に農作業から帰ってくるのが常だった。石川啄木は「一握の砂」の一句に「働けど働けど、なお我がくらし楽にならざり、じっと手を見る」と読んだ。



米が高騰、まさに米騒動の感があるが、亡き父の姿を思い出している。戦後の日本の農業はまさに、減反政策など「NO政」に振り回されてきた。生産者は安く買ったたかれ、消費者は低い収入で追いつかない高騰。いったい誰がコメの値段を釣り上げているのか。

来月は「参議院選挙」が行われるが、「農民の味方」の顔をして、また、どこかの政党が農民の票をむしり取るのだろう。春闘の賃上げは物価高騰でチョウ消しにされていないか。夏と秋にも“春闘”をやらなければくらしが持たない。

3. 先輩が貼りだした「“先生”と言われるような“馬鹿”じゃなし」

私の先輩議員は「呉市議選」に出る時に、手書きで「先生」と言われるような「馬鹿」じゃなし」と書いて電柱に貼ったことを話してくれた。

“議員さん、議員さん”“先生”“先生”とおだてられ、いつの間にか天狗になって、仰け反って歩くようになる。米騒動の中、どこかの大臣が「米をたくさんもらって、売るほどある」と暴言をはいて、大失態、辞任に追い込まれた。

“馬鹿”が政治家の代名詞になってはならない。決して他人事じゃない、わたし自身のこと。戒めて戒めて働きます。

“馬鹿”“バカ”という言葉はあまり使わない方がよい。差別や人権否定につながる恐れがある。

ワンさんの花便り

我が家の空きスペースにプランターを並べ、草花を育てている。子どもの頃から、母が私に

家庭菜園の片隅に一坪ほどの花壇を与えてくれたのがきっかけだった。

ご近所や知人からいただいた花(売るほどはない)もあれば、町の店頭で求めたものもある。コロナ禍で花・野菜作りが増えた気がする。



玄関のバラ、アジサイ、アマリス、ペチュニア



裏庭にミニトマト、キュウリ、ゴーヤ



駐車場になでしこ、パンジー、ひまわり、あさがお、ダリア・・・